

令和4年度における子どもの貧困実態調査(案)について

1. 実態調査の実施について

前回調査（平成29年8月に実施）からも5年を経過すること、コロナ禍による子どもを取り巻く状況の大きな変化も想定されることから、「第2期さいたま子ども・青少年のびのび希望プラン」の中間見直しの年である令和4年度に実態調査及び、調査結果を踏まえた子どもの貧困対策推進計画の見直し検討を行う予定としております。

2. 実態調査の概要

対象は無作為抽出による匿名での郵送調査を想定しております。（前回調査と同数）

①一般調査（無作為抽出）

5歳の保護者	1,500世帯
小学5年生とその保護者	1,500世帯
中学2年生とその保護者	1,500世帯
16歳とその保護者	1,500世帯

②支援利用者調査（無作為抽出）

生活保護受給世帯・児童扶養手当受給世帯・就学援助受給世帯の内、小学校4年生から17歳の子と保護者 4,000世帯

※ 上記の他、各支援施策に携わっている支援者へのヒアリングも予定しております。

3. 実施スケジュール（イメージ）

令和3年度中	各所管との調整・国庫補助の申請
令和4年5月頃	業務委託契約 調査票の内容、対象者の抽出等の検討
令和4年7月～	実態調査の実施、計画改定の検討
令和4年12月	議会報告
令和5年1月	パブリックコメント
令和5年3月	計画改定

実態調査及び計画見直しにあたり、児童福祉専門分科会にてご検討をお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。